

I C T を活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮中学校	実践日	平成29年7月11日 (火)
-----	-----------	-----	----------------

研究内容	(3) 児童生徒の情報活用能力を育成する授業実践	学年	1年	教科等	技術
		単元名	タブレットスタンドを作ろう		
	I C T を活用した学習活動の説明	Pagesを利用し、製作のまとめを行った。			
			<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け	
			<input type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料	
			<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着	<input checked="" type="checkbox"/> 体験の想起	
			<input type="checkbox"/> モデルの提示	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示	
			<input type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> 体験の代行	
			<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り	<input type="checkbox"/> その他 ()	
	主な I C T 活用のねらい	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 協働学習
		活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input type="checkbox"/> 展開	<input checked="" type="checkbox"/> まとめ
	生徒の作品				

○成果 (効果) 等

教員	○生徒からの感想を集めることで、それぞれが苦労したところ、頑張ったところを見ることができる。また、それを評価にいかせる。
児童生徒	○振り返るをおこなうことで、次の製作に向けての、改善点等を考えることができる。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	篠山市立西紀中学校	実践日	平成29年11月8日 (水)	
研究内容	(1) 各教科等の授業における効果的な I C T 利活用の実践	学年	3年	
		単元名	プログラミングによる計測・制御	
	I C T を活用した学習活動の説明	提示された課題を解決するプログラムを組み、班で持ち寄って意見交換をし、よりよいプログラムを考えていく。		
		主な I C T 活用のねらい	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示	
			<input type="checkbox"/> 動機付け	
			<input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明資料	
			<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料	
			<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着	
			<input type="checkbox"/> 体験の想起	
			<input checked="" type="checkbox"/> モデルの提示	
			<input type="checkbox"/> 失敗例の提示	
			<input checked="" type="checkbox"/> 比較	
			<input checked="" type="checkbox"/> 体験の代行	
			<input type="checkbox"/> 振り返り	
			<input type="checkbox"/> その他 ()	
	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	
		<input checked="" type="checkbox"/> 協働学習		
	活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入	<input type="checkbox"/> 展開	
		<input type="checkbox"/> まとめ		
	課題のプログラムについて班で意見交流をする			

○成果 (効果) 等

教員	○生徒が自発的に機器を使う中で、考えを交流させることができた。 ○発表用の資料をつくるなくても、データの形で提示機に示すことができる。
児童生徒	○事前に考えてきたプログラムを形にすることでき、自分で動画をとったり、試行錯誤したりすることができる。保存した動画を他の生徒と見比べることや、タブレット端末を持ち出し、隣の席の生徒と意見交換が可能になり、ノートと同じ感覚でやりとりができた。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮中学校	実践日	平成29年12月11日 (月)
研究内容	(1) 各教科等の授業における効果的な I C T 利活用の実践	学年	2年
		単元名	エコキューープラジオを作ろう
 <p>googledriveの様子</p>		I C T を活用した学習活動の説明	エコキューープラジオのはんだ付け部分を写真を撮りgoogledriveに提出し、保存する。
主な I C T 活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け	
	<input type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料	
	<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着	<input type="checkbox"/> 体験の想起	
	<input type="checkbox"/> モデルの提示	<input checked="" type="checkbox"/> 失敗例の提示	
	<input checked="" type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> 体験の代行	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り	<input type="checkbox"/> その他 ()	
活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 協働学習
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input type="checkbox"/> 展開	<input checked="" type="checkbox"/> まとめ

○成果 (効果) 等

教員	○生徒各自に記録し提出させることで、これまで自身で撮っていた手間を省くことができる。 ○写真なので、作品を箱から出すことなく見ことができ、チェックができる。
児童生徒	○写真を使い、失敗例等を提示し、自身の作品の改善にいかせる。 ○教員の的確なアドバイスを受けることができる。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	加西市立加西中学校	実践日	平成30年2月1日 (木)
研究内容	(3) 児童生徒の情報活用能力を育成する授業実践	学年	2年
		単元名	情報モラルとセキュリティ
 <p>情報モラルとセキュリティ</p>		I C T を活用した学習活動の説明	情報モラルとセキュリティについてインターネットで情報を集め、新聞にまとめた。
主な I C T 活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け	
	<input type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input checked="" type="checkbox"/> 学習者の説明資料	
	<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着	<input type="checkbox"/> 体験の想起	
	<input type="checkbox"/> モデルの提示	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示	
	<input type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> 体験の代行	
	<input type="checkbox"/> 振り返り	<input type="checkbox"/> その他 (ミニ研修)	
活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 協働学習
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input checked="" type="checkbox"/> 展開	<input type="checkbox"/> まとめ

○成果 (効果) 等

教員	○情報学習を始めるにあたり、最初に情報モラルとセキュリティについて情報を集めさせ、新聞にまとめさせることで、安易な態度で情報を扱うことがないよう意識づけができた。
児童生徒	○インターネットから情報を得る生徒は増加しているなか、情報モラルとセキュリティの重要性を改めて認識した。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮中学校	実践日	平成29年11月15日 (水)
研究内容	(1) 各教科等の授業における効果的な I C T 利活用の実践	学年	1・2年
		単元名	郷土料理・行事食を学ぼう
		I C T を活用した学習活動の説明	Google Classroomを活用し、課題の説明や必要なテンプレートを個人のタブレット端末に配信し、作品の提出もGoogle Classroomで行った。
		主な I C T 活用のねらい	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 繰返しによる定着 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input checked="" type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 振り返り <input checked="" type="checkbox"/> その他 (作品提出)
	提出作品をパソコン上で閲覧するページ	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習
		活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ

○成果(効果)等

教員	○授業では口頭でも説明するが、聞き逃した生徒や欠席者に個別に対応し忘れることなく、確実に全員に同じことを伝えることができる。ネット環境が整っているところであれば、生徒の作品を現物がなくてもいつでも閲覧し評価することができ、個々にコメントを返信することもできる。
児童生徒	○Google Classroomを開けると課題の説明や提出期限が常に確認できる。期限が迫るとメッセージがタブレット端末に届くようになっており、提出を促す効果もある。紙媒体と違って直接担当教師に手渡ししなくてもよいので、授業外で時間のある時や休み時間に作業をすることができる。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	加西市立加西中学校	実践日	平成29年11月10日 (金)
研究内容	(2) I C T の特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践	学年	3年
		単元名	教科等 家庭 幼児の遊び
		I C T を活用した学習活動の説明	タブレット端末の映像を班で分析し、協働して課題を解決する。
		主な I C T 活用のねらい	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 繰返しによる定着 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他 ()
	一枚の写真を見ながら意見を交わす	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習
		活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ

○成果(効果)等

教員	○幼児の遊びについて、その特徴を示す画像を各班に示し、班ごとに分析させると共に意見交換をさせることで興味関心を高め、具体的な理解に導くことができた。
児童生徒	○具体的な画像を元に考えることができるので、意見交換もしやすくかった。それぞれの意見を画像を見ながら確認できるので理解しやすく、また、全員で思考を共有することもできた。